



ごあいさつ



友の会の会員の皆様を始め関係者の皆さん
こんにちは。日頃は友の会の発展に協力し、
協力と力添えを
返して見ます。人
類を感動させる
多分に溢れず多
れず会員の皆様
といたる毎行な
なりました。皆
ます。この様な事
役員同士で意思の
と安藤副会長が事
面を通じての
事を果たし、役
割を果たしてま



日々の小さな努力



総合新川橋病院 副院長
Fujita 脳神経外科友の会顧問
佐野 公俊

友の会の皆様お元気でしょうか。5月に
ロナがインフルエンザと同じく流行する
のが気になります。この様な時期は、
マスクを着用し、手洗いを徹底し、
第3波が来ても、
マスクを外し、
天候にお
集まる事が
集まる事が



藤田医科大学ばんだね病院
病院長
堀口 明彦

脳神経外科友の会に寄せて

コロナ感染症も増え、村の機会も増
えてまいりました。脳神経外科友の会の皆様
におかれましては大変お世話になっております。
ばんだね病院職員を代表いたしまして御礼申
上げます。
皆様のおかげをもちまして、ばんだね病院新
機が8月下旬に開院いたしました。外來機、医
機、検査室を解体して、地下1階地上4階の新機
は着々と完成に向かっています。この新機は、
地下1階に画像診断フロア、1階に救急外來、
科外來、2階に手術室7室、3階に小児科、
科4階には新たに手術室を増設する
です。また手術室を7室に増設する
で、様々な手術に対応できる体制とし、力
れております。ロボット手術を含め、高難
度手術の充実を図っていきます。さら



新役員 三浦 太

思いで会員になり、何かよく分からないまま今回日帰り旅行に参加させて頂きました。
れば良いのか手伝えはいいのかは分からないままの参加でしたが何よりも参加して頂いた方達
元氣だなと思ったのが第一印象でした。
一度も時間の都合により会議には顔も出ることが出来ません。友の会の内容もよく分かっていま
先生も含めて何よりも笑顔の絶えない集まりだと良いなと思います。
嬉しいのは苦手ですが、出来る限りは行事など参加していければと思います。

脳神経外科友の会 日帰り旅行を終えて

藤田医科大学ばんだね病院
看護部長 相原 晶子

ロナウイルスの影響で開催できなかった友の会の旅行が日帰りという形ではありましたが、6月4日
することができました。感染症拡大前までは、毎年旅行が実施され、私も友の会の会員及びご家族の
楽しい会話、おいしい食事を一緒に、忙しい毎日から離れリフレッシュをさせていただきながら、元
っていました。

知多のバリアフリーの宿サポートイン南知多で昼食、懇親会、海辺の散策が企画され、ばんだね病院
と共に参加致しました。おいしい食事をいただきながら、皆様との楽しいおしゃべり、そしてカラオ
皆様と一緒に歌ったり踊ったりして、皆様のパワーのすごさに脱帽しました。海辺の散策では、私自身
しほりの海に心が弾みました。短い時間でしたが、皆様と楽しい時間を過ごし、素敵な思い出を作
きました。今回の旅行に参加された会員及びご家族の皆様をサポートに少しでもなれたらうれしいで
皆様と楽しい時間を過ごすことができれば、日々看護の技術を磨いてまいります。

加藤庸子先生、役員の皆様、今回素敵な日帰り旅行を企画し、参加させていただいたことに、心より感
謝します。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



足助のたんころりん夕涼み



油絵・伊画	表紙
金沢会長あいさつ	1
佐野先生あいさつ	2
加藤先生あいさつ	3
堀口病院長あいさつ	4
健康コラム 松浦広昂先生	5
活動報告	6
おたよりコーナー	10
伊画・写真・絵・書	12
ご寄付の一覧・写真・編集後記	14
加藤庸子国際基金のご案内	表紙裏



Fujita 脳神経外科 友の会 顧問
藤田医科大学ばんだね病院
脳神経外科 教授・統括副院長
ストロークセンターセンター長
加藤 庸子

ごあいさつ

2023年6月4日、3年ぶりの友の会の旅
行は「日帰り」という短い時間ではありましたが
が知多内海の海辺へと向かいました。
この特別な日は、看護部長をはじめとする
看護部の力強い応援と、また翌日には帰国する
4名の留学生医師も及ぼす参加していただき、安
全に会を開催することができました。
この度は、本会を必要とされる方々や、軽い
麻痺のある方々とそのご家族にお集まりいた
だきました。皆様とともに楽しいひとときを共
有し、美味しい昼食を頂戴し、ラジオ体操や海
辺の散策をお楽しみいただき、3年分の想い出
で心が一杯になりました。

2023年6月4日、3年ぶりの友の会の旅
行は「日帰り」という短い時間ではありましたが
が知多内海の海辺へと向かいました。
この特別な日は、看護部長をはじめとする
看護部の力強い応援と、また翌日には帰国する
4名の留学生医師も及ぼす参加していただき、安
全に会を開催することができました。
この度は、本会を必要とされる方々や、軽い
麻痺のある方々とそのご家族にお集まりいた
だきました。皆様とともに楽しいひとときを共
有し、美味しい昼食を頂戴し、ラジオ体操や海
辺の散策をお楽しみいただき、3年分の想い出
で心が一杯になりました。



健康コラム

藤田医科大学医学部リハビリテーション医学1講座
藤田医科大学ばんだね病院 講師
松浦 広昂

装具療法

中や背骨損傷などを発症後、装具(多くは短下肢装具、以下同様)・補助員を用いて歩行が可能となり自宅退院し
ながら歩行機能が低下し、装具を必要とする状況となっている例が散見される。歩行機能の低下の原因には、加齢
低下などによる筋力低下、産性の亢進などがある。不良な歩容による膝・腰の疼痛を機に受診し、対応に至る場
ら、受診に至らず結果的に不適切な装具を何年も使用していることもある。

装具作製の概要

障害者総合支援法によって装具を作製する場合、多くの場合3年で再作製が可能であるため、それ以上長期に使用されている
装具、一度リハビリテーション科に紹介して、定期的なフォローに繋げるのが望ましい。装具の作製を更生相談所一括対応し
ている所もあるが、市役所で確認すると良い。

装具をみるポイント

障害者から相談が多いのは、長年の使用や風呂場での使用によって、ベルトの機能が低下する場合である。ベルトの交換
も可能であるが、本肢の耐久性を考慮して本体ごと再作製をすすめることもある。なお、防水性のベルトもあるが、浴室内
で使用する場合は防水性を考慮し、浴室外での使用に耐えられるものを選ぶ必要がある。使用頻度が高い可能性がある
下肢機能、歩行機能の改善により不審となっている例もあるが、異質性筋萎縮や産性亢進によって装具が固着する場合、
低下などによって立脚時の安定性が不十分となる場合に使用を中断する例の方が多い。下腿部分のサイズ変更より安定
な装具を選択する。

紹介のポイント

足のサイズや使用頻度の変化がある場合、あるいは装具を使えなくなった場合、定期的なフォローがない場合、紹介を
する。また、装具がなくても、歩行能力低下や腰痛、下腿痛が装具、サポーターで改善できる場合もあるため紹介を検討す
る。これは変形性膝関節症、腰痛、外反母趾に対する装具(サポーター)や足底板(インソール)である。

会報 63 号



2024年を振り返って

総合新川橋病院 脳神経外科顧問 佐

友の会の皆様、2024年もあついで間に暮れようとしています。
10月の日帰り昼神温泉旅行も和食をいただきながら、藤田脳外科が独立する前から勤務されてきた看護士さんや新川橋病院に勤務されているスタッフがアジアの看護士さんを育成し、自国に返すという会社を設立した方々も同席し、また留学の紹介があったり、加藤先生はじめ友の会の役員さんがたの「一力」で友の会が活動していることを実感しました。

第50回ばんだね病院演奏会(2024.10.12)



加藤雅彦と加藤先生



演奏風景



第78回友の会親睦旅行(昼神温泉)

7月天候にも恵まれた中、車椅子・杖の方も参加頂き104名でバス3台に乗り込みました。
バス内ではカラオケ大会で盛り上がり、ホテル阿智川の懐石料理をとりなされ、ばんだね病院看護部の皆さん「フレイル体操」・片看護副部長「感謝状」のお話で参加の皆さんから多くの質問もあり有意義な時間でした。
この抄訳を紙面での多くの皆さんから要望がありましたので健康コラムに掲載します。



バス1号車の皆さん



バス2号車の皆さん

Fujita 脳神経外科友の会 第78回

日程：2024年10月27日(日)
行先：元元ホテル阿智川(昼神温泉)
教員：伊藤雅彦先生503・115
TEL: 0265-431-2525

★車イスのりも大丈夫★
★車イスのりも大丈夫★
★車イスのりも大丈夫★

★車イスのりも大丈夫★
★車イスのりも大丈夫★
★車イスのりも大丈夫★

Fujita 脳神経外科友の会

藤田医科大学 ばんだね病院

ともにわちあひすこやかなときを



油絵「春を待つ」 鈴木康則様/提供

2025年度の市民フォーラムの案内は11ページ
親睦旅行の案内は12ページです!!

Fujita 脳神経外科友の会
[会報]63号 2025年(令和7年)3月
発行所: 友の会事務局(伊藤雅彦先生事務所)
TEL (0561) 38-7220
FAX (052) 323-6800
Mail: yamashita@fujita-neuro.jp

会報 63号

2025年(令和7年)3月

金沢会員あいさつ	表紙
佐野先生あいさつ	1
加藤先生あいさつ	3
健康コラム	4
片方子看護副部長	4-5
長崎理香看護士	4-5
活動報告	5
おたよりコーナー	12
俳句・写真・絵	16
ご寄付一覧・役員紹介・編集後記	18
加藤雅彦先生のご案内	表紙



ごあいさつ

友の会の皆様、
長らくお世話になっております。
友の会の皆様、
長らくお世話になっております。
友の会の皆様、
長らくお世話になっております。



Fujita 脳神経外科 友の会 顧問
藤田医科大学ばんだね病院
脳神経外科 教授・統括副院長
ストロークセンターセンター長

加藤 庸子

ご挨拶

友の会

2024年を振り返って

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。
友の会の皆様、お元気にお過ごしでしょうか。

會報 64 号

脳神経外科友の会に寄せて



藤田医科大学
ばんだね病院病院長
堀口 明彦

脳神経外科友会の会の皆様におかれましては、ばばんなね病院の発展にいつもご指導いただきながら感謝申し上げます。

10月1日付で小松文成先生がばばんなね病院脳神経外科教授に就任されました。小松教授は三叉神経痛の内視鏡手術では世界にも有数の名医であり、加藤藤子統括副院長の愛弟子であります。ばばんなね病院の特徴がまた一層増え、院長として厳が高い今日このころです。

日本全国で国公立の8割の病院が赤字経営になっていることが問題になっていました。物

「プロバスカン 2025」は、脳神経外科分野の国際的な交流と協力を促進することを目的として開催される。本大会では、最新の研究成果や臨床応用に関する発表が行われ、参加者間のネットワークが強化される。また、会場には最新の医療機器や治療法の展示が行われる。この大会を通じて、脳神経外科の発展と患者への医療の向上が期待される。



新年のご挨拶



加藤 庸子

支えてくださった役員の皆様。そして何より患者様と深い絆が、この会をここまで導いてきました。

2025年は、「新しい社会の時代」へ向けての歩みの年でもありました。

第20回記念大会「アム・初めは試みとなつた」「語り」としてテーマの両端に羽織られた内閣府委員会と、美術家対話シリーズを通して、人と人とのつながりの温かさを改めて感じる年でした。

これからの医療も、技術の進歩とともにユニークなシナジーがますます大切になると例え、その心の通い

———
1978年

の会 2025を振り返って



佐野 公博

友の会の皆様「こればかりはもうまづきい
ます。さういふことをわかってもらいた
い。お返しにどうですか？」

今年も10月、夏の日が続いたかと思え
秋が駆けつけ、週末になつてしまひまし
た。ドッグや羊の英名を覚えて、羊を食
料にするというやり方、熊に熊が食料を
町に運ぶというやり方、子熊を食料と
するのうに運ぶというやり方、必ずしも
そのやり方ではない。考えれば山に熊た
るという状態が現れます。

失礼の至るであつたのではありません。
友人「人間関係では人の世界が悪い」
で進化し自分「アババ」もて時代「ト
キ」きました。今アババは熊が食料と
なりましたが、熊は世界で羊を食料と
しますが、羊はアババを食料とします。熊にアババを食料とす

[illegible]

健康コラム

②症は予防できる??

大学ばんだね病院 脳神経内科 教授 伊藤 瑞規



認知症は要介護の状態になる原因疾患の第一位で、18%程度を占めています。介護を要する期間になってしまう認知症には、おそろい誰もがなりたくないと思っています。しながら、認知症は高齢になるにしろしいが、その有病率が増えるため、今後さらに高齢化が促される患者数は増加していくと思われます。

「今回の調査の結果、全で認知症の患者数は443万人、認知症の一手前の軽度認知障害は59万人程度と試算され、2040年には65歳以上の高齢者の7人に1人が認知症になると試算されました。この専門家もおっしゃる通り、2025年には65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると試算されています。軽度認知機能障害（MCI）と試算され、2025年には50万人強増えたとみられます。認知症の患者数は、このように増加する見込みです。」

危険因子としてのこと事は、認知症の発症を予防することができるのではないかと、思われます。実際、認知症と不眠、糖尿病、高血圧、肥満、過度のアルコール飲酒、65歳以上の読書習慣、高LDLコレステロール血症、うつ病、外傷（Livingston GS, Langley C, 2012）。これらのうち、喫煙は関係するところで、高血圧や糖尿病、高LDL血症が挙げられる喫煙によりコントロールが難しくなること、認知症の予防につながることも、高血圧や糖尿病、高LDL血症などコントロールが比較的容易なものは、

の趣味を持って、やろうと思えば認知症の予防効果は得られる可能性があります。有名なアメリカ人の「70歳を対等に迎える」著者、生田、認知症では無いと思われている高齢者でも、解題して、脳をのそりていくと格闘したい、社会参加を希望してはいます。つまり、仮に認知症にならなくても高齢者教育活動と格闘したい、社会参加を希望する方が、活発に様々な活動を行うことで、死めず認知症と思われなくても、スリッパのできる可能性があるので、

正を予防したいと思われるのであれば、家に閉じこもり、一人でテレビを見ているなどを避け、できるだけ、外へ出かけ、様々なことに興味を持って活動すること、ここを一番大切がでしょうか。

元気にする取り組み 一口活ワーク

三鬼 達人

[illegible]

「会議」のススメ —もしもの時も、自分らしく—

病院統括本部 統括看護部長 眞野 恵子



Fujita 脳神経外科友の会 会報



脳卒中友の会 会報(創刊号より25号)



脳神経外科友の会 会報(26号より41号)



脳神経外科友の会 会報(42号より51号)



脳神経外科友の会 会報(52号より56号)



脳神経外科友の会 会報(57号より64号)